



花開く機会を求めて

校長 藤森 克彦

今年も正門前に、大井第一小「ふらっと会」の皆さんが育てた大輪の菊を飾っていただきました。1本の苗から3本の枝を伸ばした三本仕立てや、幹や茎が根よりも低く崖のように垂れ下がらした盆栽仕立ての懸崖菊は見事で、春から丹精込めて育てていただいたことが伝わってきます。

この「ふらっと会」はおよそ半世紀前から、菊づくりを通した子どもたちの情操教育を目的としてPTAのグループの方々が始めていただいたもので、今でもOB・OG数名の方が栽培を続けていただいています。「菊を活けるといい子に育つ」「菊を飾ると福が来る」など、縁起のいい花とされていますが、この菊を愛でながら子どもたちに幸せがますます訪れるようお願いしたいものです。

さて、早いもので今年度の半分が過ぎましたが、1年生もすっかり慣れ一回りも二回りも大きくなったように思います。また、学級の係や委員会活動などで子どもたちが校長室や職員室を尋ねてくることがあります。緊張しながらも一生懸命に用件を伝える子どもたちの姿を見ると、気さくに声をかけその緊張感をほぐしてやりたい気持ちになります。でもそこをぐっと抑え、部屋の入るときや出るときあいさつの仕方、用件の伝え方やふるまい方などが十分でない場合は、近くにいる教職員が子どもたち自身に気づかせるよう声をかけています。子どもたちは一回教えただけでしっかりできるようになりますが、そうした姿も頼もしさを感じます。

ところで、「守・破・離」（しゅ・は・り）という言葉があります。もともとは江戸時代に茶道の修業の際に使われていたとのことですが、現在では剣道などの諸武芸のほか、指導者から何かを学びはじめてから独り立ちしていくまでの段階を示す言葉として広く使われています。

最初の「守」は、学ぶ者が指導者の教えを守る段階で、できるだけ多くの話を聞き指導者の行動を見習って自分のものにしていきます。基本的には、指導者の教え（つまり“型”）を習得できるまでは指導されたとおりに行動します。「自分で考えなさい」という機会が増えてくると次の段階の「破」となります。指導者の教えだけでなく自分で工夫しながら新しい方法を試してみることです。学んだことに磨きをかけ個性を発揮する時期といえます。そして、最後の「離」は、指導者のもとから離れ学んだことを自分自身で発展させていく段階で、独自の道を確立させるために生涯にわたって精進を重ねていくこととなります。

これら三つの段階は学校教育にもあてはまるものだと思います。初等教育をつかさどる小学校は、「守」が中心になるといえます。まず子どもたちには一人の人間として成長していくための“型”を繰り返し教えていかなければなりません。授業における学習習慣やスキルをはじめ、あいさつや言葉遣いなどの礼儀、交通機関や図書館等での公共の場でのマナーも“型”の一つです。第一段階の「守」をいかにきちんと身に付けるかで、次の段階である「破」が生きてきます。

本校の教育目標の一つである「考える子」も、生涯にわたって自ら考え自ら学ぶ力の育成を目指しています。考える力はバーチャルだけでは身に付きません。実際に課題解決の場面や試行錯誤の機会と経験の中で育まれるものであり、正直なところ時間も手間もかかります。それでも様々な方のお力をいただきながら、「破」の部分を大事にし“熟成”させていきたいと思っています。

先日の大一体育祭では、競技の作戦や練習をはじめ係活動や応援などを通して子どもたちの主体性と発想を生かすことができないかと取り組みました。11月には学習発表会も予定しています。「守」の部分とともに、学年の発達に応じてシナリオや表現方法など子どもたちが創意工夫している「破」の部分もぜひご覧いただきたいと思っています。

子どもたちの思いが大輪となって花開く機会になればと願っています。

～学習発表会におきて～

1年「おはなしだいすき 1年生」

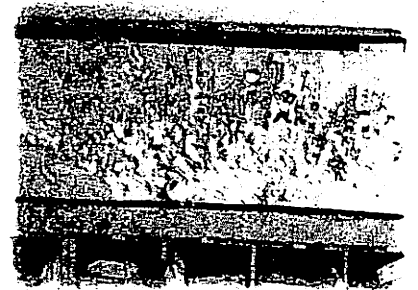
1年担任 高橋 璃子

入学してから国語の授業や図書的时间、読み聞かせなどの活動を通して、たくさんの物語に出会いました。そこで1年生は、国語の学習で扱った4つの物語の劇を発表します。

最初は、「大きな声で発表できるかな?」「大勢の前で発表するのは、緊張する。」と心配する様子も見られました。ですがクラスで取り組む物語が決まり、初めて台本を読む目はとてもキラキラとしていて、楽しみな気持ちが溢れていました。

「おむすびころりん」の練習中には、教科書の文をリズム良く暗唱しようとする様子が見られました。全て暗記できた子もいるほど、やる気満々です。「くじらぐも」の学習では、クラスで大きなくじらを作って、自分たちの絵を載せて想像を膨らませました。

今までの学習の中で、なりきって音読してきた成果を学習発表会で生かすことができるよう、練習に励んでいきます。



2年「The Ants and the Grasshoppers」 2年担任 滝川 幸恵

2年生は、英語科の授業で行っている Joint Storytelling から「The Ants and the Grasshoppers」の英語劇に、音楽や体育の表現を交えて発表します。アリとキリギリス、ナレーター役に分かれた子どもたちが学級の枠を越えて、英語での台詞や歌、ダンス、運動あそびの練習に一生懸命に取り組んでいます。それぞれのグループで振付や表現のしかた等について話し合い、工夫して練習しています。初めのうちは台詞の声が揃わなかったり、動きが小さかったりと自信のない様子の子もたちでしたが、練習を重ねることに自信をつけ、堂々と表現できるようになってきました。歌あり、ダンスあり、運動あそびあり、英語あり、見どころいっぱいので2年生の発表にどうぞご期待ください。

3年「大人になりたい子どもたちと子どもになりたい大人たち」

3年担任 森本 睦美

3年生は、国語、社会、算数、理科等様々な内容で発表をします。3年生になって新しく始まった社会や理科。実際に自分たちで実験をしたり、町に繰り出して調べたり!子どもたちの大好きな教科です。国語や算数は、だんだん内容が難しくなってきましたが、友達と協力して教え合ったり、みんなで意見を深めたりしています。

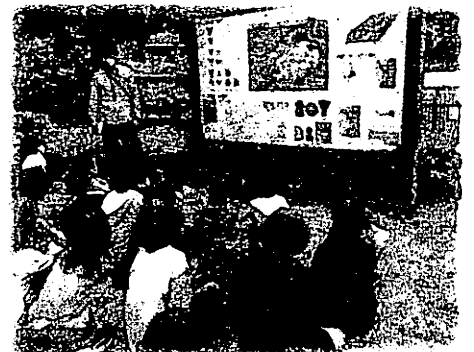
それぞれの教科で学習したことの中から選りすぐりの内容を、下級生の子にも分かるように、さらに、大人の人にも楽しんでもらえるように、各クラスで発表の仕方を工夫して、分かりやすくかつ面白く発表します。当日は、子ども役と大人役で対決方式で発表します。どうぞお楽しみに!

4年「大井町の魅力を見つけよう」

4年担任 田場川 優子

学習発表会では、4年生は市民科「品川博士への道」、社会科「とどけよう命の水～玉川兄弟と玉川上水の開発～」を中心に発表します。

10月中旬には大森貝塚について知るために大井の地域を巡って貝塚見学をしました。貝塚がどこで発見されたのか、モース博士はどこから見ていたのか、実際に自分たちの目で見ただけで、改めて大森貝塚のすごさを実感しました。他にも、玉川上水の学習を踏まえ、品川用水が地域にあることを学びました。大森貝塚や品川用水に感じた良さを、寸劇やプレゼンにして発表します。自分が発表したい内容・方法ごとにグループで集まり、仲間と話し合いながらセリフや動きを考えました。学年で一致団結して作り上げた4年生の学習発表会、ぜひ、楽しみにしててください。



5年「大一 Seasons～私たちの春夏秋冬～」

5年担任 鈴木 由季

5年生は今、学年で心を一つに学習発表会に向けて準備を進めています。5年生の学習発表会では、日本独自の「春夏秋冬」の良さを伝えます。松組は春、竹組は夏、梅組は秋、月組は冬を担当し、学年で力を合わせて1年間を表現していきます。

国語、理科、体育、市民科など、教科の枠にしばられず今まで学習してきたことを取り入れました。見ている人たちが季節をより感じられるよう、子どもたち一人一人がアイデアを出し合い、クラス全体での話し合いを重ねながら取り組んでいます。シナリオも全てオリジナルです。劇やパフォーマンス、プレゼンなど表現方法も自分たちで考えました。

5年生が創り上げる各クラスの春夏秋冬にご期待ください。

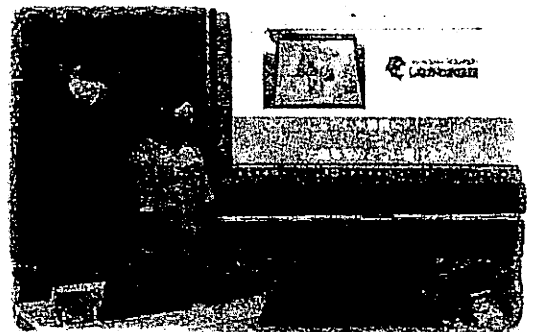
6年「学び方も頼もしい6年生」

6年担任 小池 絢子

6年生は学習発表会で市民科「私たちの地域 品川の魅力発信プロジェクト」の学習の成果を発表します。大森貝塚の来場者数を増やして地域の活性化を目指していくために、今は各クラスで情報を集め、考えをまとめているところです。

プロジェクトで情報を集めていく学習の過程では、休日に子どもたちが実際に大森貝塚公園へ出向き、大森貝塚に来た方に来園の目的などをインタビューするグループもありました。一生懸命に学びに向かう姿勢から、子どもたちのやる気と熱意を強く感じます。

提案内容の検討をする場面では、継続的であることやコストができるだけ低いことなどを条件に考えて学習をすすめています。様々な条件をふまえながら吟味しプロジェクトを考えていく6年生が本当に頼もしいです。



体育的行事委員会より

大一体育祭実行委員長 小林 雄大

直前まで雨が降るかもしれないという予報の中、当日は実施ができる天気となりました。子どもたちや保護者の方々、教員の願いが届いたのだと思います。

さて、今年は3年ぶりに保護者の皆様を招いての体育祭となり、とても嬉しく思います。保護者の皆様には子どもたちの健康管理をはじめ、大一体育祭に向けて多大なご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。

今年も子どもたちは一人一人が勝利に向かって短距離走や学年競技において一致団結して、努力を重ねました。体育祭を終えた後の表情を見てみると、スローガンでもある「勝利を絆でつかみ取れ 仲間と創る力がある」の言葉の通り、学級の絆や他者を尊重する姿勢、力を合わせる楽しさなど、普段の学校生活だけでは得られない大きな価値あるものを手に入れた様子が伺えました。

今年は応援団やリレー、係活動では6年生がリーダーシップを存分に発揮し、1年生から5年生は6年生を信頼して全力を注ぐ、信頼と協力に支えられた子どもたちが全員で作り上げた素晴らしい体育祭でした。

年間重点生活目標「正しい姿勢を意識して生活しましょう！」

今月の生活目標

生活のめあて	チャイムスタートをしましょう
保健のめあて	うがいと手洗いをしましょう
給食のめあて	感謝して食べましょう

11月の予定

日付	曜	主な行事	日付	曜	主な行事
1	火	放送朝会 避難訓練（二次避難）	16	水	児童集会 人権標語掲示（12/9まで）
2	水	朝読書① 午前授業	17	木	学習発表会（児童鑑賞日）①
3	木	文化の日	18	金	学習発表会（児童鑑賞日）②
4	金	図書集会 委員会	19	土	学習発表会（保護者鑑賞日）
5	土		20	日	
6	日		21	月	振替休業日
7	月	安全指導日	22	火	放送朝会 個人面談①（6年三者面談） 卒アル個人写真（6年） 家庭科乾物教室（6年）
8	火	放送朝会	23	水	勤労感謝の日
9	水	朝読書② 午前授業	24	木	午前授業 個人面談② 訪問相談
10	木	朝読書③	25	金	音楽朝会 午前授業 個人面談③ 家庭科乾物教室（6年）
11	金	朝読書④ フレンドタイム	26	土	
12	土		27	日	
13	月		28	月	個人面談④ 大森貝塚講演（4年） すくすくスクール13：15～
14	月	縦割り班会議①（5・6年）	29	火	放送朝会 午前授業 個人面談⑤ 和楽器授業（5年）
15	火	放送朝会 学習発表会準備（6年）	30	水	午前授業 和楽器授業（5年） 品川ICT シンポジウム

生活指導部より

オールクリア

1年担任 片岡 菜月

今月の生活目標は「オールクリア」です。オールクリアとは、教室を離れるときや下校するときに、机の上に出ているものをしまっ、何も無い状態にすることです。

「身の回りを整理整頓する」ことや「使ったものは、元通りに片付ける」などは、頭で分かっているつもり後回しにしがちです。しかし、これらのことは気持ちよく生活するために身に付けておきたいことです。

学力向上の基礎となるものは、子どもが学習しやすい環境にあると思います。低学年では、市民科の学習で「自分のものを大切に」「毎日を気持ちよく過ごすためのきまり」などを学習します。初心を忘れず、オールクリアを習慣化して気持ちよく過ごしましょう。

※お願い 貸出用の上履きが不足しています。23.5cm以上のもので、もう使わなくなったものがあれば、学校に寄付していただくと助かります。

リレーコラム「かかわる・創る」

5年担任 八木 健登

「学校全体を巻き込んでいこう」ある5年生児童の言葉です。高学年となり、下級生とのかかわりが増えた5年生。体育祭を通して「一人の力でやっていくよりも、協力していくとっと大きな力を発揮していくことができる」と考えたようです。人と「かかわる・創る」力はこれからの社会を生き活躍していくには、不可欠な生きる力です。学校は、教科の学習だけでなく、様々な年齢の仲間たちと「かかわる・創る」ことができる場所です。これから始まる学習発表会やフレンドまつりなどの学校行事だけでなく、日々の学校生活もみんなで「かかわる・創る」ことができるよう指導し、支えています。